

市民の願いにこたえ健康影響検査に助成を

陳情では、「事故発生直後は、放射性セシウムに加え、放射性ヨウ素も降り注ぎ、子どもたちをはじめ多くの住民が被爆していると思われます」として、放射性物質による子どもや妊産婦の健康影響検査費の助成を求めています。

**ポイ捨ての禁止 犬・猫のふんの放置禁止 空き地の適正管理などを求める
沼田市くらしの環境美化条例が10月1日施行に**

A collection of household items including a pot, a striped shirt, a bottle, and a cup, with a small cartoon character in the foreground.

**女の子も元気に「はっけよい のこった」
材木町神明神社で子ども相撲**

こなわれ、女の子も元気に参加していました。

神明宮の子ども
相撲は、江戸時代
からおこなわれて
いたのではという
話もあります。



利根町追貝の山妻有のサクラが例年より早く満開となり、多くの観光客が訪れ写真を撮っていました。



満開の時期には夜間ライトアップもされ、昼間とはちがった山妻有のサクラを楽しむこともできました。

NO. 350

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料



沼田公園は、旧沼田藩士子息の久米民之助氏が私財を投じ、荒れ果てていた沼田城址の土地を購入し、大正5年（1916）9月から、公園の西側を中心に公園建設に着手し、大正15年（1926）に沼田町に寄贈しました。その後も工事はつづけられましたが民之助氏は、昭和5年（1930）に病で倒れ、公園の完成を見ることなく翌年71歳で亡くなりました。

沼田公園の池の近くに武尊石の自然石に、「冬やまの 瘦せたる襞に おきわたす 根雪の光きびしこのくに」と彫られた、生方たつゑ氏の歌碑があります。

この歌は、生方たつ糸氏の第二歌集「雪明」にある一首で、
 文字は生方たつ糸氏の
 筆によるものです。

生方たつ糸氏は、明治37年（1904）に生まれ、大正15年（1926）生方誠氏と結婚し、沼田で生活するようになりました。



沼田公園の生方たつる歌碑



沼田公園の久米民之助氏の胸像